

収入計算書の書き方について

このページは
全員記入必須

【用紙②】収入計算書（2021年度入学者用（大学院予約））

前年用（表）

収入計算書[前年（2019年1月～12月）用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、前年の収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行うとともに収入にかかる証明書を裏面に貼付（父母等からの給付額がある場合は裏面に記載）いたします。

○進学予定校名 _____ 大学 _____ 研究科 _____
○進学予定課程（該当の数字に○）：
1. 修士・博士前期課程 2. 博士後期課程 3. 博士後・専・薬（4年制）・獣医学課程 4. 法科大学院
○申込者氏名 _____ ○学籍番号 _____

収入計算書[前年（2019年1月～12月）用]にご自身の収入・支出額を記入してください。尚、記載した収入額について、証明書類を用意してください。

収入項目	収入額 (A)	支出項目	支出額
定職 (本人)	(年額) 万円	日常生活費 (食費・住居費・光熱費等) (☆)	(年額) 万円
定職 (配偶者) [該当者のみ]	(年額) 万円	授業料	(年額) 万円
アルバイト	(年額) 万円	課外活動費 (等)	(年額) 万円
アルバイト 3	(年額) 万円	支出額合計 (※)	(年額) 万円
父母等からの給付額 (★)	(年額) 万円	奨学金 (申請中の奨学金は除く)	(年額) 万円
奨学金	(年額) 万円	合計 (※)	(年額) 万円

配偶者がいる場合は配偶者の収入を記載。ただし、定職の収入の場合だけ記載してください。

父母等からの給付は授業料・通学費も含まれます。減免制度による授業料の減免を受けている場合は含まれません。

源泉徴収又は、確定申告書が手元にない場合は下記の書類を提出してください。

- ①区市町村で発行している「令和2年度所得(課税・非課税)証明書」
- ②3カ月分の給与明細書を添付の上、収入に関する申出書(様式1)
- ③収入証明書を勤務先に記載してもらえ方は(様式2)を提出

※2019年収入がない場合は所得金額「0円」と記載されたものが必要です。区市町村で発行している「令和2年度所得(課税・非課税)証明書」を提出してください。

前年用(表) ①

【用紙②】収入計算書（2021年度入学者用（大学院予約））

本年見込用(表)

収入計算書[本年見込（2020年1月～12月）用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、本年の収入に関する状況は以下のとおりである（「スカラネット」への入力）を行うとともに収入金額に大幅な変動が無い場合は、【A】を選択していただき、以下、記入不要です。

【収入の状況】(A・Bの該当する方に、○)を付けてください。

A	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動はありません。	このページは記入不要。	
B	収入計算書[本年見込(2020年1月～2020年12月)用]は以下の理由で前年より収入金額が大幅に変動し、【B】を選択した方は下記に注意して記入してください。 ■2020年中に定職、アルバイトを退職した場合は収入に含めないでください。 ■新たに定職、アルバイトに就いた場合収入に記載 ■父母等からの給付額が大幅に増・減額した場合は記載。 ■奨学金が2020年中に終了した場合は収入に含めないでください。 ■その他の収入が大幅に増・減額した場合	変動の記入	
収入項目	収入額 (A)	支出項目	支出額
定職 (本人)	(年額) 万円	日常生活費 (食費・住居費・光熱費等) (☆)	(年額) 万円
定職 (配偶者) [該当者のみ]	(年額) 万円	授業料	(年額) 万円
アルバイト	(年額) 万円	課外活動費 (等)	(年額) 万円
アルバイト 1	(年額) 万円	支出額合計 (※)	(年額) 万円
アルバイト 2	(年額) 万円	奨学金 (申請中の奨学金は除く)	(年額) 万円
アルバイト 3	(年額) 万円	合計 (※)	(年額) 万円
父母等からの給付額 (★)	(年額) 万円		
奨学金 (申請中の奨学金は除く)	(年額) 万円		
奨学金	(年額) 万円		
合計 (※)	(年額) 万円		

【記入時の注意事項】
○複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは1・2に記入後、3に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。
★計上する場合、本年見込用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。
☆自宅通学費、世帯一人当たりの経費（世帯年間経費/家族人数）を記入してください。

※「収入見込額合計」≧「支出見込額合計」とならない場合は、その理由を記載してください。収入額合計は、0万円とらないよう記入してください。

【事由】
申込視点でアルバイト実績がない場合は本年見込収入額としての計上は不要です。本年見込収入額<本年見込支出額となる場合は、【事由】に収支差は奨学金により補填する予定と記載してください。

【用紙②】収入計算書（2021年度入学者用（大学院予約））

前年用(裏)

【用紙②】収入計算書（2021年度入学者用（大学院予約））

本年見込の収入について、前年と変動しない場合、この面の記入は必要ありません。

本年見込用(裏)

証明書類貼付欄 [収入に関する証明書のみ貼付]

証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホチキスで

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付

その場合、本用紙への貼付は不要です。

書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

証明書類はA4サイズで用意してください。証明書類が小さい場合やコピーを提出する場合はA4サイズの用紙に印刷又は貼付してください。「証明書類貼付欄」への貼付は不要です。

前年の収入から変動がある証明書のみ貼付

本紙と上下の向きをそろえて、ホチキスで上部2点を留めてください。異なる場合は、下部スペースに計算式を記入し、推算した年額を表面記入欄

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付してください。

【収入状況】で【B】を選択した場合は、2020年分の証明書類を用意してください。

【提出例】

- ・既に退職の場合は退職証明書又は退職がわかる源泉徴収又は、退職証明書(学生課HPよりDL)を勤務先へ記載依頼
- ・見込額を計算する必要がある場合は計算式を記入してください。別紙添付でも可
- ・計算式一においては「奨学金を希望する皆さんへ」P24*P25 参照

給付がある場合は「★父母等からの給付額について」への記入をもって証明とします。(自宅通学者含む)

★父母等からの給付額について

表面の申込者本人が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、当該者本人への給付額については、以下のとおりであることを相違ありません。

○給付者(父母等)氏名【自署】 _____ ○申込者との関係(続柄) _____

(千円単位：合計欄のみ1万円未満切捨て)

(2019年)		千円	8月	千円
1月				
2月			9月	
3月			10月	
4月			11月	
5月			12月	
6月			合計	万円
7月				

【月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。】

前年用(裏) ③

★父母等からの給付額について

表面の申込者本人が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、当該者本人への給付額については、以下のとおりであることを相違ありません。

○給付者(父母等)氏名【自署】 _____ ○申込者との関係(続柄) _____

(千円単位：合計欄のみ1万円未満切捨て)

(2020年)		千円	8月	千円
1月				
2月			9月	
3月			10月	
4月			11月	
5月			12月	
6月			合計	万円
7月				

【月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。】

本年見込用(裏) ④

また、2020年も父母からの給付がある場合(自宅通学者含む)、額についても記入してください。給付者(父又は母)の自署が必要です